



Analytical Sciences誌の Springer Nature社への業務委託

北川 慎也

皆様ご存じの通り、2022年1月1日より、本会の英文論文誌である Analytical Sciences 誌の出版・販売・ホームページ業務などの独占的出版権が Springer Nature 社へ委託されました。1985年の創刊以来、多くの会員のご尽力・ご協力を得ながら投稿受付・審査・出版までを一貫して、学会単独で行ってまいりましたが、Analytical Sciences 誌の存在価値をさらに高めるために国際的な大手出版社との提携が有益と判断されてのことです。

業務委託を行うことが決定されてから、Analytical Sciences 誌編集委員会では移行を円滑に行うために様々なことを行う必要がありました。最大の課題は、旧システムに投稿された論文を Springer Nature 社のシステムで出版することでした。Springer Nature 社と十分に打ち合わせを行い進めてまいりましたが、予想外のトラブルが発生し、その対処に時間がかかってしまいました。そのため、本来であれば1月に出版する予定であった38巻第1号の出版が大幅に遅れてしまい、会員の皆様に多大なるご迷惑をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。その後、2号、3号と出版を重ねることにより、遅れは少しずつ解消され、第6号からは通常のスケジュールでの出版ができるようになっております。

編集委員会としては、新投稿システムである Editorial Manager に円滑に移行することも大きな課題でした。もちろん Editorial Manager は、多くの論文誌の出版を支えている優れたシステムであり、問題なく編集業務に利用することが可能です。しかしながら「投稿されている論文を追跡することができなくなるタイミングがある」「査読者データベースが初期状態ではデータが存在しない」など、旧システムとの違いに戸惑うこともありました。現在は編集委員の先生方のご尽力・ご協力により、円滑に編集業務を行うことができるようになっております。

これら以外にも Springer Nature 社への出版業務の移行に関しては、対応すべき点が多々ございましたが、多くの方々のご協力によりなんとか成し遂げております。この場をお借りいたしまして、お世話になりました関係の方々にご心より御礼申し上げます。

さて、当然のことながら Analytical Sciences 誌にとって最も重要なことは、優れた論文の発表の場であり続けることです。そしてそのためには、皆様に優れた研究成果の発信の場として、Analytical Sciences 誌を選択して頂くことが不可欠です。編集委員会では、Analytical Sciences 誌の価値を高めるべく、優れた総説の執筆依頼や特集号の企画などを進めてまいります。Analytical Sciences 誌のさらなる発展のために、皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

〔Shinya KITAGAWA, 名古屋工業大学大学院工学研究科,
「Analytical Sciences」副編集委員長〕